

平成29年度 学校評価報告書

校訓	自律・協同・創造
----	----------

教育目標	1. 自らの責任において自己の目標を立て、その目標に向かって自己を厳しく律することのできる力を育てる。 2. 集団の中における自己の立場を自覚し、協調・協力のできる態度を育てる。 3. 健康に留意し心身の鍛錬に努めると共に、常によりよい社会の実現を目指して創意工夫する態度を育てる。
------	---

4段階評価 4…強く思う・よく当てはまる 3…そう思う・ある程度当てはまる 2…あまりそう思わない・あまり当てはまらない 1…全くそう思わない・まったく当てはまらない

重点目標	学校評価実施項目	目標達成のための方策	分掌	自己評価			自己評価 概評と改善策	学校関係者評価
				教職員	生徒	保護者		
1 自己指導能力の育成	挨拶や服装・頭髪の指導を通して生徒の礼節ある態度が育てられていますか。	服装・頭髪指導週間を設け全教員で指導した。事後指導を行い指導を徹底する。指導基準を明文化する。	生徒指導	2.9	3.0	3.0	A 生徒会による朝の挨拶運動を行ったり、教員自ら挨拶を励行するなどに取り組んだ。服装・頭髪指導も行ったが、概して生徒の状況は良好だったと判断している。清掃活動にも熱心に取り組んでいる様子が年間を通して見られた。昨年に引き続いて部活動単位での地域活動への参加が活発に行われた。進んでこみを拾う、困っている人へ手を差し伸べるなど自発的に行動できる生徒が育っている。	A ・運動部の活動がいろいろと活発だが、練習がきつい・休みが欲しいとの意見ももつともである。その中で吹奏楽部が中国大会銀賞をとったということはすごいことである。JRCも活躍しているようで文化系も活発な様子。いろいろあるなあ、いいなあどつくづく思う。 ・服装などはきちんとしている様子が垣間見られる。今後ともよろしくご指導のほどをお願いしたい。 ・昔の生徒ほど元気のいい挨拶とはいいがたいが、それでもきちんと応対してくれている。 ・今年度の地域ボランティアスタッフに部活動単位でたくさん参加する様子が見られた。たいへんありがたく思っている。
	(1) 自らの健康管理意識の向上と基本的生活習慣の確立 (2) 諸活動に対して主体的に取り組む姿勢の醸成 (3) 様々な場面に応じたふるまい向上と社会的マナーの向上	チャイムと同時に授業を開始することを生徒にも習慣づけ、清掃活動時は全教員が各所の指導に当たる。	教務	2.9	2.6			
	地域活動やボランティア活動への自発的参加のできる生徒を育てていますか。	地元や施設で開催される様々な行事に部活動単位や融資を募って参加させる。教育の日になんだ一斉奉仕活動も実施する。	生徒指導	3.0				
	集会指導や情報モラル講座・薬物乱用防止教室を開催することで、社会的なマナーを身につけさせることができているか。	全校集会や学年集会の機会を利用して継続的な啓発を続ける。外部の専門家を招いた講演会もいろいろなテーマを取り上げて実施する。	生徒指導	3.0				
2 自他の人権を尊重する精神の育成	互いの人権を尊重し、望ましい人間関係の育成を図るために学校行事等における集団活動の支援ができていますか。	学園祭、球技大会、日頃のHR活動などを通して集団活動を通した望ましい人間関係の構築を図らせる。	図書研修	3.0	3.0	A 人権・同和教育については、様々な工夫を行った取り組みが実践されたと判断している。3年間を見通して、集団での仲間づくり、望ましい人間関係の構築、同和問題や人権問題、就職・結婚に関する諸問題など多角的な観点から主体的に考えさせる取り組みを工夫することができたと判断する。 必要な支援に対して担任や教科担当、学年会などで情報交換をする機会をもち、状況把握と共通理解を図り、その支援の在り方について検討することができた。その過程で支援の新しいアイデアが生まれ、生徒理解が深まるなど、今まで以上に効果的な協力体制ができた。	A ・主権者教育について、事前投票制度のこととか大切なことは伝達を。しっかりと取り組んでほしい。ただ、政治的な動きをどこまで取り上げるか難しいところもあるが。 ・ICT機器が多数導入された様子でありいろいろな面で効果が上がることが期待される。 ・様々な事情を抱えて学校へ来にくくなっている生徒が全体的に増えていると聞く。一般論だが、高校は義務教育でないということでも小中にくらべてフォローについて不安を感じることもある。	
	(1) 互いの人権を尊重し、望ましい人間関係づくりの育成 (2) 適切な情報活用能力と危機管理意識の育成 (3) 特別支援教育の理解と実践	各クラス、学期に最低1回の時間を設けて人権や自他を尊重することの大切さを考えさせるLHRの時間を設ける。	図書研修	3.0	3.0			
	支援を必要とする生徒(発達障害・不登校生徒)を早期に確認し、担任・保護者・関係者との連携を密にし他機関との連携を含めた早期対応が図られていますか。	必要に応じて迅速なケース会議を開き、個々の事情に適した対応を検討する。場合によっては外部専門機関との連携を図る。	保健	3.0				
	朝の健康観察、欠席状況把握等を行い、生徒個々の心身両面の健康実態の適正な把握に努めていますか。	担任、学年主任、保健部が緊密な連携をとり、対応が必要な生徒の情報を共有し適切な方策を検討する。	保健	3.1				
3 学力向上のための支援	授業評価を通して、生徒の学習意欲や希望・問題点を把握し、授業の充実改善が行われていますか。	授業評価を毎定期試験ごとに実施し教員自身が効果的な授業の在り方を検証する	教務	2.8	3.1	3.0	B 各教科の公開授業や学期ごとの生徒の授業評価、さらにICT活用の工夫など様々な面で研鑽を深める取り組みがあった。 手帳の使い方については引き続き工夫が必要と思われる。昨年の評議員会でも指摘されたとおり、手帳の活用は大切なことと判断しており手間と時間がかかっても有効に活用する方策を探っていくことを継続したい。 教員自己評価では、3.2という良い評価であるにも関わらず、生徒学校評価では逆の評価で意識のかけ離れが見取れる。読書活動の大切さは伝え続けるとともに、読書低迷の最大要因と思われるスマホ利用時間増大の問題にも課題として取り組む必要を感じる。	B ・ほとんどが上級学校進学希望である。進学希望を実現することは大切な事であり今後もしっかりと生徒を指導して頂きたい。一方で「平田高校は就職には弱い」という声もある。求人もたくさんあるようなのでそちらの方も大丈夫だというアピールもした方が生徒募集には有効ではないか。 ・手帳の使い方に関しては松江の方の学校も活用しているという報道があった。あちらの方はマスコミを使うのが大変上手だと思った。平田高校でも、導入して活用している様子をケーブルテレビにでも紹介したらどうか。 ・スマホを扱ったアンケートなどについて利用を進めることはいいことであるが、一方で手書きも大切。両方を上手に活用してほしい。
	(1) 学習効果を高める授業の充実・強化 (2) 生活時間調査の効果的活用と学習習慣の確立 (3) 読書意欲の向上と図書館の活用	学ぶ目的や意義を理解させて、計画的・主体的に学習できる力を付けさせ、学年部目標の学習時間の確保に努めていますか。	教務	2.7	3.0			
	「大夢」の導入で生徒の学習習慣や基本的生活習慣の確立が図られるなどの効果がありましたか。	「大夢」を日常的に活用させる。自身の学習記録と成績の推移を検証させ自己管理・学習到達度の確認を行わせる。	教務	2.7	2.7			
	今年度から取り入れたClassiの利用(アンケート・生活時間調査・生徒・保護者への情報伝達)は有用だと思えますか。	活用度合いを高め、学校からの様々な情報が確実に届くよう工夫する。担任業務の軽減を図り生徒と触れ合う時間を創出する。	教務	3.2	2.8	3.0		
	生徒の読書意欲を高揚させる取り組みを行うことができているか。	読書の意義と楽しさ、充実し幅広い世界観の構築の大切さを様々な機会を通して啓発する。	図書研修	3.2	2.7			
4 進路指導の充実	進路目標を確立・実現できるように、各学年でキャリア教育プログラムが適切に実施されていますか。	3年間を見通したキャリア教育プログラムを作り、自己の望ましい将来見通しを考える機会を持たせる。	進路指導	3.0		2.9	A プレゼンテーションの時間を各学年で設けて発表の機会を持たせた。進路意識・職業意識を深めることができたと判断している。 模試の分析を各教科に行ってもらい、進路検討会や学力分析会により細かい検討を加えることができた。生徒の学力向上にどうつなげるかは今後とも検討を続けたい。 今年度から従来のスキー研修に代えて「名古屋・大阪研修」を実施した。生徒は上級学校や先端企業で最新の情報に触れることができ進路意識や自分の将来のことを深く考えさせる機会を持つことができたと思えている。来年度も早い時期から調べ学習やプレゼンの機会を設けて研修をより実りあるものに繋げたい。	A ・生徒の話聞く機会があった。名古屋・大阪の話してくれた。遊んでいた風な様子でなくて熱心に活動した様子を伝えてくれた。今後もぜひ生徒に夢を与えるという方向へ活用を。実際、親も共働きが増えて、名古屋という場所は連れていきにくいのでいい場所が選ばれたと思う。1年生の時にこんな大きな町や企業などを見ておくことはインパクトが大きい。 ・研修旅行そのときだけでなく、事前学習に加え、事後のまとめも予想以上にきめ細くなされている。生徒たちにとってまことに喜ばしいことであり今後ともよろしくお願したい。
	(1) キャリア教育の充実と多方向との連携 (2) 学力分析並びに進路指導方法の充実と研究 (3) 各学年での進路目標の確立的確な進路情報の提供	各学年で、学力分析や進路検討会の改善充実を通して教員間の共通理解が図られていますか。	進路指導	3.0				
	地域企業訪問・上級学校訪問・インターンシップ・職業人講演会・卒業生講話などは生徒に自分の将来を考えさせる上で効果的に行われていますか。	地域企業訪問・上級学校訪問・インターンシップ・職業人講演会・卒業生講話を1・2年次に実施する。	進路指導	3.2				
	面談、進路説明会、進路講演会などを通して生徒・保護者に的確な進路情報が提供されていますか。	生徒向け、保護者向け、教職員向けの講演会の機会を設けて、毎年変わる入試システムや上級学校の仕組みについての確かな情報を得る。	進路指導	3.0	3.1			
5 地域・家庭・中学校・卒業生会との連携強化	保護者や地域の学校理解を深めるために、PTA通信や学校通信等を発行し積極的な広報活動が行われましたか。	総務部・進路指導部・保健部・図書研修部・学年部などが計画性をもって様々な観点からの広報活動を行う。	総務	3.3			A PTA総会にあわせて公開授業、進路指導部による説明会は参加者も多く、好評だった。研修として従来は京都の全国高校駅伝伝援ツアーを行っていたが、今年度は情報モラル関係の講演会とした。予想を上回る参加を得ることができ、内容も今どきの高校生を持つ親のニーズに合うもので参加者には好評であった。来年度も保護者の関心の高いテーマを取り上げて研修会を開催したいと考える。 「日本学生支援機構」については、今年度も副担任との連携でスムーズな手続きにつながった。 仮想デスクトップ標準パソコンの導入で各教員からアップロードするのが大変面倒な手順を踏まねばならず更新が滞った。	A ・オープンスクール、各中学校での説明会など生徒募集にいろいろ工夫がされていることは分かった。一方で私立高校のアピール度に対して公立高校は今一つ面白くない宣伝という感想を耳にする。色々工夫を重ねてアピールしていただきたい。 ・ホームページはもう少し頻繁に更新をしていただきたい。それと、何年も前の部活動データが古いままであるのは新しくしてもらいたい。 ・緊急災害時の対応体制について、毎学期の訓練はしっかりと行われているようだがいつ何時があるかわからない。万が一の危機対応をあらかじめ十分に備えて、いざというときの対応を真剣に考えておいていただきたい。
	(1) 地域を大切に、地域に貢献しようとする心の育成 (2) 家庭・中学校との連携と広報活動の充実 (3) PTA活動の推進 (4) 卒業生会との連携	中高連絡会や一日体験入学の実施、プラタナス通信の発行等により、中学校との連携や情報交換の充実が図られていますか。	総務	3.3				
	高校説明会や中高連絡会などを通して、本校の魅力が中学校へ発信され効果的な生徒募集につながっていますか。	中学校の教員・生徒・保護者に対して左記の機会を利用して本校の特色をアピールしていく。入学後の勉学へのサポートのきめ細やかさや部活動の特徴的な点も強調する。	教務	3.2				
	各種奨学金制度の周知を図り、生徒の学習支援態勢を充実させることができましたか。	全ての奨学金について生徒・保護者に対して文書を出して周知する。	総務	3.3	3.0	3.0		
	ホームページの有効活用を進め本校の情報発信に寄与できていますか。	校内LAN担当だけでなく、全教員がアップロードができるようにして、迅速な情報更新が行える体制をつくる	図書研修	2.8		2.8		